# ボイスモニターシステム AT-VM50

# 取扱説明書

audio-technica

お買い上げありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書は必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

**※本製品は、難聴の方の聞こえの改善を目的とした製品（補聴器）ではありません。**

## 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

| | |
|---|---|
| ⚠危険 | この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。 |
| ⚠警告 | この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。 |
| ⚠注意 | この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。 |

## 本体について

### ⚠警告

- **異常に気付いたら使用しない**
  異常な音、煙、臭いや発熱、損傷があったら、すぐに電池を抜き、お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- **自動車、バイク、自転車など乗り物の運転中には絶対に使用しない**
  交通事故の原因となります。

### ⚠注意

- **大音量で長時間使用しない**
  聴力に悪影響を与えることがあります。
- **本製品を使用中に気分が悪くなったり、肌に異常を感じた場合はすぐに使用を中止する**
  違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- **分解や改造はしない**
  故障、火災の原因となります。
- **火気に近付けない**
  変形、故障の原因となります。
- **濡れた手で触ったり、水をかけたりしない**
  感電、けがの原因となります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない**
  変形、故障の原因となります。
- **同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない**
  事故、火災の原因となります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電、故障、火災の原因となります。

## 電池について

| 指定電池 | 付属の専用充電池 |
|---|---|

※市販の単４形乾電池も使用できます。
※市販の乾電池や充電池は本製品は充電できません。

### ⚠危険

- **電池の液が目に入ったときは目をこすらない**
  すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。

Ni-MH

■お願い
ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は＋（プラス）端子にテープなどを貼り付けて絶縁してから充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jp をご覧ください。

### ⚠警告

- **幼児の手の届く所に置かない**
  電池を飲み込んだ場合はすぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害のおそれがあります。
- **火の中に入れない、加熱、分解、改造しない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **極性通りに入れる**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **液漏れした電池はすぐに取り出し、液は素手でさわらない**
  ・幼児がなめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
  ・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
  ・バッテリーケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
- **硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の＋と－を接続しない**
  ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **長時間使用しない場合は電池を取り出す**
  液漏れによる故障の原因になります。
- **付属の充電器以外で充電しない**
  故障や火災の原因になります。
- **室温の高い場所では充電しない**
  充電池は充電時、温度が高くなります。室温が高いと電池の劣化を招き、寿命が短くなる恐れがありますので、室温 30℃以下の環境で充電してください。また充電中は、本体に触らないでください。

### ⚠注意

- **外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルをはがさない**
  ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **落下させたり強い衝撃を与えない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **変形させたりハンダ付けしない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **以下の場所で使用、放置、保管しない**
  直射日光の当たる場所、高温高湿の場所、炎天下の車内
  液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- **保管、廃棄の場合は端子部をテープなどで絶縁する**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **水に濡らさない**
  発熱の原因になります。
- **指定の電池以外使用しない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する**
  環境保全に配慮してください。

## ＡＣアダプターについて

### ⚠警告

- **ＡＣ100Ｖ以外の電源には使用しない**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **本製品以外には使用しない**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない**
  異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店か当社のサービスセンターに連絡してください。
  そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- **コードを伸ばして使用する。釘などでの固定や束ねたままでの使用はしない**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする**
  断線、故障の原因になります。
- **コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない**
  断線、故障の原因になります。
- **分解や改造はしない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電によるけがのおそれがあります。
- **布などでおおわない**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る**
  過熱による火災など事故の原因になります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない**
  変形、故障の原因になります。

### ⚠注意

- **長時間使用しないときは、コンセントから抜く**
  省エネルギーにご配慮ください。
- **足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない**
  故障や事故の原因になります。
- **通電中のＡＣアダプターに長時間触れない**
  低温やけどの原因になることがあります。

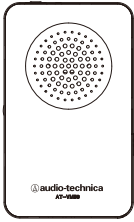
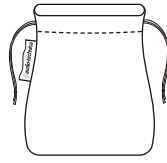
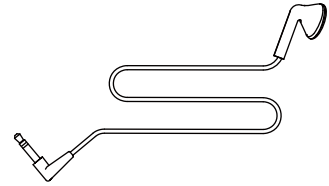
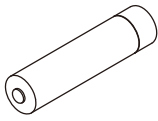
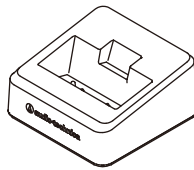
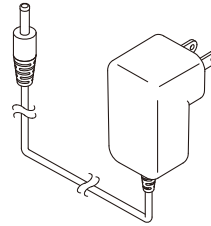
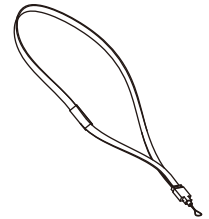
## 使用上の注意

- 本製品の電源を入れる前に音量を最小にしてください。
- スピーカーを耳に当てて使用する際、集音マイク周辺を手でおおったり、集音マイク穴をふさいだりしないでください。
  「ピー」という大きな音 ( ハウリング ) が出る場合があります。
- 本製品を使用する際、集音マイクにイヤホンを近付けないでください。「ピー」という大きな音 ( ハウリング ) が出る場合があります。
- イヤホン使用時、乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体に蓄積された静電気によるもので、本製品の故障ではありません。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 付属のイヤホンのコードを本体に巻き付けないでください。断線の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
  また水がかからないようにしてください。
- 急激な温度変化や、直射日光、結露、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。
  また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。

## 充電について

- 初めて充電を行なったときや長い間使用しないときは、充電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。
- 電池使用の際は、使い切らないうちに充電を繰り返すと、充電状態とは無関係に電池が消耗するメモリー効果と呼ばれる現象が起きます。その場合、一度電池を使い切ってから充電してください。
- 以下の原因などにより、充電中に異常があると、充電が完了していなくてもランプ ( 赤 ) が点滅することがあります。
  ・動作保証温度範囲（0℃～ 40℃）から外れる場合
  この場合、もう一度上記の温度範囲内で充電を行なってください。
  それでも充電されない場合は、当社のサービスセンターにご相談ください。

## 内容物の確認

本製品をご使用になる前に、下記内容物がすべてそろっていることを確認してください。万一、内容物に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社相談窓口までご連絡ください。

## 消耗品について

- 充電を繰り返すと電池の容量が減少してきます。使用時間が短くなってきましたら、なるべく早く新しい専用充電池と交換されることをおすすめいたします。
- 付属充電池は消耗品のため保証の対象外になります。交換可能ですので、販売店でご注文いただくか、当社サービスセンターにお問い合わせください。

## 各部の名称と機能

※ご使用になる前に、下図を参考に各部をご確認ください。

### 集音器本体

**スピーカー**
ここから音が出ます。

**ストラップ取り付け部**
付属のストラップを取り付けることができます。

**イヤホンジャック**
付属のイヤホンを使う際に差し込みます。

**音量つまみ**
音量の大きさを調整するつまみです。

**電源スイッチ**
電源 入 / 切スイッチです。

**電源ランプ**
電源が「入」の時は緑色でゆっくり点滅します。電池残量が少なくなると点滅が早くなります。
充電中は赤色で点灯します。

**集音マイク**
ここから周囲の音を集音します。

**ノブ**

**電池カバー**
ノブを押し下げると開きます。

**充電端子**

（電池カバーを開けた状態）

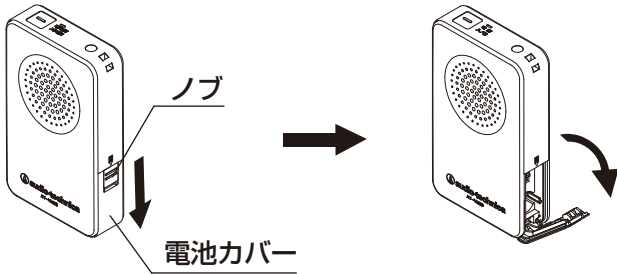
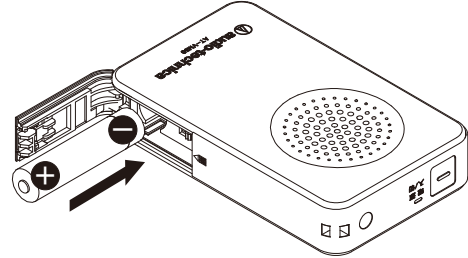
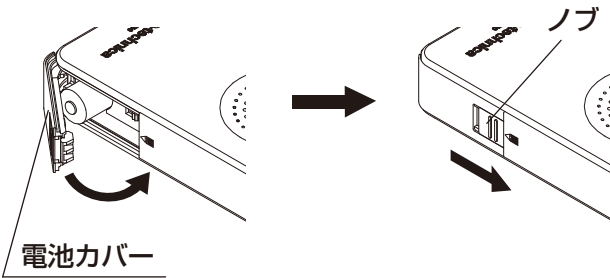
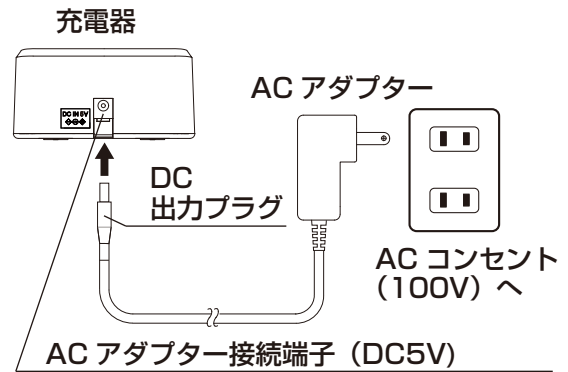
**自動電源 OFF 機能切換スイッチ**
※自動電源 OFF 機能の項目を参照ください。
（「使いかた」をご参照ください。）

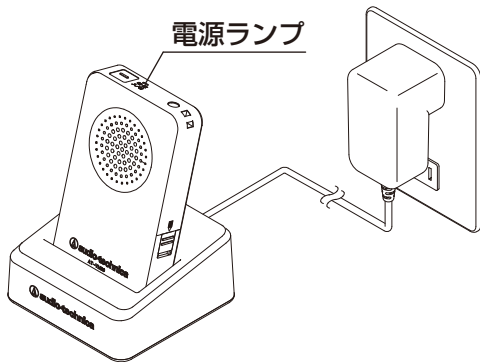
乾電池を⊕ ⊖の極性表示に合わせて入れます。

### 充電器

# 充電のしかた

本製品をお買い上げ時は付属の充電池は完全には充電されておりません。
初めてご使用になるときは充電する必要があります。※1

**1.** 電池カバーのノブを押し下げ、電池カバーを開けてください。

**2.** 電池ボックス内の ⊕ ⊖ の極性表示に合わせて付属の充電池を 1 本入れてください。
（市販の単4形乾電池も使用できますが、充電はできません。）

**3.** 電池カバーを閉め、ノブを押し上げてください。
（電池カバーが固定されます）

**4.** 付属 AC アダプターの DC 出力プラグを充電器の外部電源入力端子に差し込み AC アダプターを AC コンセント（100V) に差し込みます。※2

付属の専用アダプター以外のアダプターは使用しないでください。

**5.** 本体の充電端子を下にし、下図のように充電器に差し込み充電してください。※3,4,5
充電がはじまると電源ランプが赤色で点灯します。
充電時間は約２時間半です。※6
充電が完了すると電源ランプが消灯します。

※1. 本製品では付属の充電池のみ充電できます。
市販の乾電池や充電池は充電できません。

※2. 充電しないでスタンドとしてご使用の場合、AC アダプターを抜いてください。

※3. 平らな場所で充電してください。

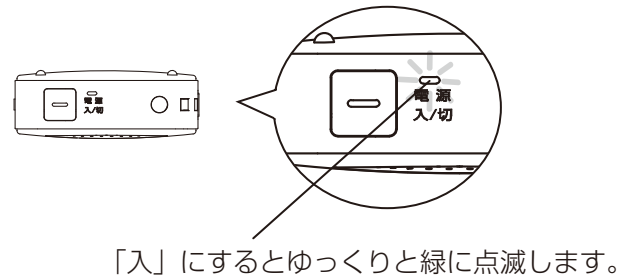
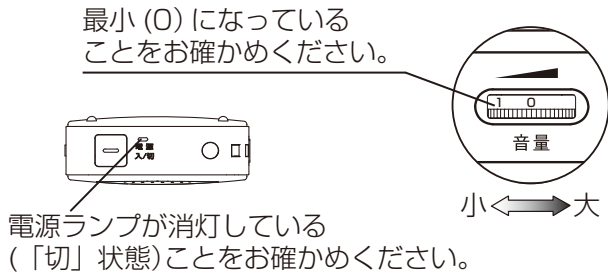
※4. 充電がはじまると自動的に電源が切れますが、念のため電源スイッチを「切」にしてから充電してください。

※5. 底の充電端子が汚れていると充電できないことがあります。充電端子の汚れを落としてから充電器に入れてください。

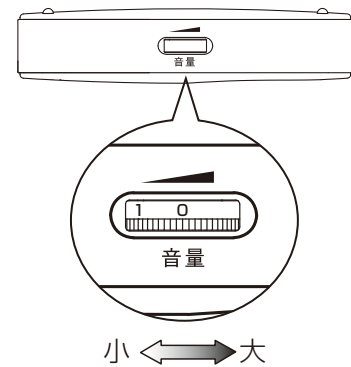
※6. 空の充電池を充電するための目安の時間です。前回充電した分の電池残量が残っている場合には、短い時間で充電完了となります。

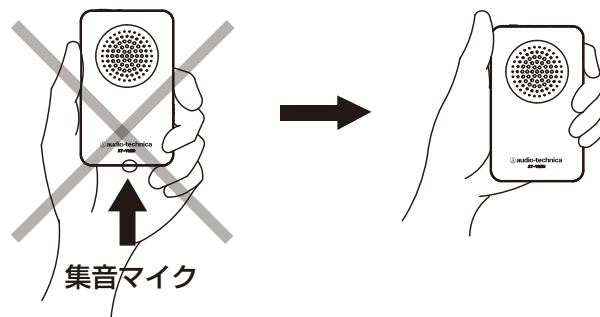
# 使いかた

**1.** 電源スイッチが「切」(電源ランプが消灯)になっていることをお確かめください。
また、音量つまみを最小にしてください。

**2.** 電源スイッチを押してください。
(電源ランプがゆっくりと緑で点滅します。)
電源ランプが早く点滅したり点灯しなかったら充電してください。

**3.** スピーカーを耳にあて、本体底面にある集音マイクを、音を聞く方向へ向けてください。

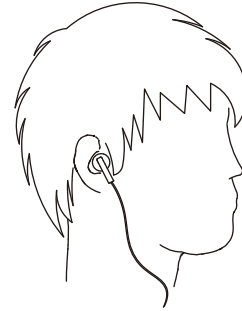
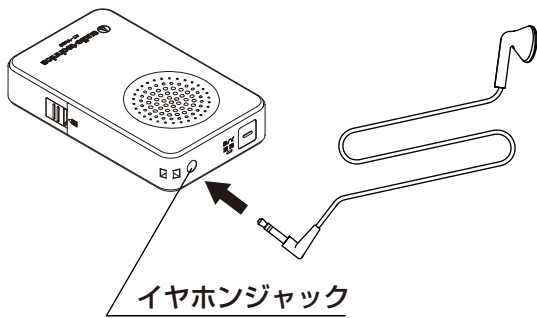
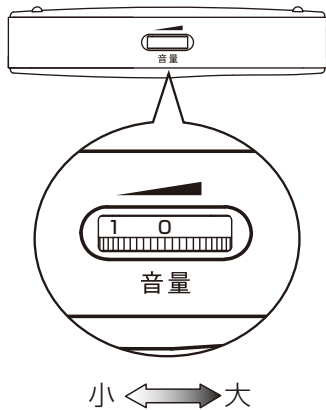
※本体底面には集音マイクがあります。手でおおわないようにして音のする方へ集音マイクを向けてください。

**4.** 音の大きさを音量つまみで調整してください。
数字の大きい方が音が大きくなります。

**5.** 使い終わったら必ず電源スイッチを押して、電源ランプが消灯していることを確認してください。
また、次回使用時に大音量で耳を傷つけないために、音量つまみを数字の小さい方に回し、音量を絞ってください。

※ 電池残量が少なくなると電源ランプの点滅が早くなります。早めに充電してください。
※ 使用中に本体下部の集音マイクを手や物でおおったり、塞いだりすると「ピー」という大きな音(ハウリング)がすることがあります。手や物でおおったりせず、集音マイクは聞きたい音の発生する方向に向けてください。

※ 集音マイクを手でおおわないように、使用する際は本体中央部分をお持ちください。

## ■ イヤホンを使用する場合

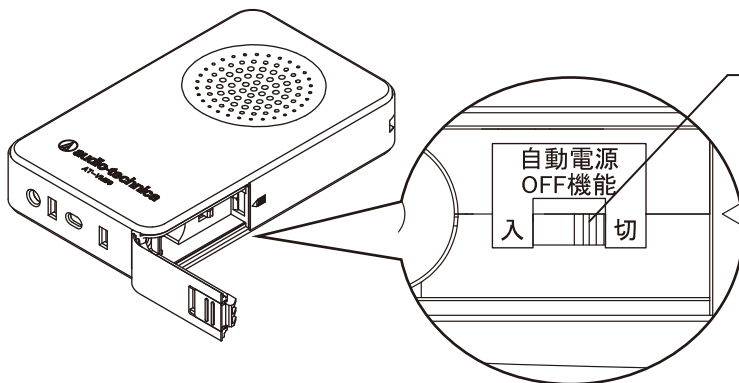
**1.** 付属のイヤホンを本体上部のイヤホンジャックに差し込んでください。
(イヤホン使用時は自動的にスピーカーからの音は出なくなります)

**2.** イヤホンを耳に装着してください。

**3.** 音量つまみを回し音量を調整してください。

※ 使用中にイヤホンを集音マイクに近付けないでください。「ピー」という大きな音 ( ハウリング ) がすることがあります。

※ 市販のステレオイヤホンを接続した場合は、イヤホンの左側からのみ音声が出力されます。

※ 市販のステレオイヤホンを使用して両側から音声を出力したい場合は、別売のステレオーモノラル変換プラグアダプターが必要です。この場合、イヤホンの両側から音声が出力されます。( 音声はモノラルとなります。)

## ■ 自動電源 OFF 機能

電源の消し忘れ防止のため、電源を「入」にした状態で約 10 分経過すると、自動的に電源が「切」になります。
再度電源スイッチを押すことで続けてご使用いただけます。
また、電池ボックス内にあるスイッチで電源が自動で「切」にならないように設定※することも可能です。
※消し忘れによる電池切れにご注意ください。

スイッチを「入」に設定した場合、約 10 分で自動的に電源が「切」状態になります。
「切」に設定した場合、電源は自動的に「切」状態になりません。
(出荷時は「入」に設定されています。)

## お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

### ■ 本体について

乾いた布で本体の汚れを拭いてください。

### ■ イヤホンについて

汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、本体、コードが劣化し、故障の原因になります。

### ■ マイクについて

集音マイク部は繊細なため、触らないようにしてください。故障の原因になります。

## 故障かな？と思ったら

| Q1. 音が出ない | | |
|---|---|---|
| A1. 電池の向きは正しいですか？ | → 向きを確認してください。 | ▷ 「充電のしかた」を参照してください。 |
| A2. 電池が消耗していませんか？ | → 電池を充電してください。 | |
| A3. 電源スイッチが「入」になっていますか？ボリュームが最小になっていませんか？（電源ランプは点滅していますか？） | | ▷ 「使いかた」を参照してください。 |
| **Q2. ハウリング（「ピー」音）がする** | | |
| A1. 本体下部の集音マイクを手や物でおおっていませんか？ | | ▷ 「使いかた」を参照してください。 |
| A2. イヤホンが集音マイクに近付きすぎていませんか？（イヤホン使用時のみ） | | |

## テクニカルデータ

### 本体部

- ●周波数特性　：500 ～ 3,000Hz
- ●電源　：DC1.2V（付属の専用充電池 ×1 本）または DC1.5V（単4形乾電池 ×1 本）
- ●連続使用時間　：約 24 時間（満充電時）
- ●外形寸法　：W57×H95×D21mm
- ●質量（電池含まず）：75ｇ

### マイク部

- ●型式　：エレクトレットコンデンサー型
- ●指向特性　：全指向性
- ●感度　：- 44.0dB（0dB=1V/Pa, 1kHｚ）

### スピーカーユニット部

- ●ドライバー　：φ23mm
- ●インピーダンス　：32Ω

### 充電器

- ●電源電圧　：DC5V
- ●消費電力　：2W

### イヤホン部

- ●型式　：ダイナミック型
- ●ドライバー　：φ14.8mm
- ●出力音圧レベル　：96dB/mW
- ●再生周波数帯域　：20 ～ 20,000Hz
- ●最大入力　：5mW
- ●インピーダンス　：16Ω
- ●質量（コード除く）：約 2.5ｇ
- ●プラグ　：φ3.5mm 金メッキ モノラルミニ（L 型）
- ●コード長　：0.6m

### 付属品

- ●充電池（RB4H）
- ●AC アダプター（AD-SD0510AH）
- ●専用ポーチ
- ●ストラップ
- ●モノラルイヤホン

（改良などのため、予告なく変更することがあります。）

**アフターサービスについて**

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

**お問い合わせ先**（電話受付／平日9：00～17：30）

製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、販売店または当社相談窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

**●相談窓口（製品の仕様・使いかた）** 0120-773-417
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp

**●サービスセンター（修理・部品）** 0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp

**●ホームページ　（サポート）**
www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp

132310350